投資者の皆様へ

2026年11月6日

商　　号　SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第311号
加　入　協　会　一般社団法人資産運用業協会

11月6日の弊社ファンドの基準価額下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
以下のファンドの基準価額が11月6日に大きく下落しましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1.基準価額及び騰落率（11月6日）

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
SBI 次世代テクノロジー戦略ファンド	9,183 円	▲680 円	▲6.89%
SBI・インベスコ QQQ・NASDAQ100インデックス・ファンド	19,242 円	▲1,348 円	▲6.55%
SBI NASDAQ100インデックス・ファンド	8,999 円	▲637 円	▲6.61%
SBI TOPIX100・インデックスファンド＜DC年金＞	38,117 円	▲2,393 円	▲5.91%
SBI地方創生・日本高配当株式ファンド（成長型）	10,203 円	▲626 円	▲5.78%
SBI地方創生・日本高配当株式ファンド（年 4 回決算型）	10,156 円	▲623 円	▲5.78%
アメリカン・ドリーム・ファンド	17,901 円	▲1,248 円	▲6.52%
SBI小型成長株ファンド　ジェイクール	13,745 円	▲761 円	▲5.25%
SBI日本小型成長株選抜ファンド（愛称：センバツ）	17,610 円	▲974 円	▲5.24%
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト	51,882 円	▲2,791 円	▲5.10%
SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト（年2回決算型）	25,061 円	▲1,348 円	▲5.10%

〇本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。〇本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。〇投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。〇投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。〇お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

SBI日本高配当株式(分配)ファンド(年 4 回決算型)	16,268 円	▲959 円	▲5.57%
SBI・i シェアーズ・日経 225 インデックスファンド	18,705 円	▲1,147 円	▲5.78%
SBI・i シェアーズ・TOPIX インデックス・ファンド	17,669 円	▲1,161 円	▲6.17%
SBI日本高配当株式ファンド(年 1 回決算型)	12,489 円	▲736 円	▲5.57%
SBI 読売333インデックス・ファンド	10,354 円	▲637 円	▲5.80%
SBI-Man AI インサイト日本株式ファンド	8,940 円	▲523 円	▲5.53%

2.基準価額下落の主な要因及び今後の見通し

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

5 日の米国株式市場は、中間選挙で民主党が上下両院の過半数を奪還したことを受け、AI 向けデータセンターの建設規制への警戒が強まり、AI・半導体関連株を中心にハイテク株が大幅に下げました。S&P500 種指数は約▲4.4%、ナスダック 100 指数は約▲6.4%、フィラデルフィア半導体株指数は約▲12.3%となりました。こうした流れから、国内株式市場は、ソフトバンクグループ、キオクシアホールディングスなどの AI・半導体関連株が大幅に下落し、日経平均は取引時間中に一時 4,300 円超下落して約半年ぶりに 6 万円を割り込み、6 日は日経平均が約▲6.0%(3,643.13 円安の 57,434.77 円)、TOPIX が約▲5.9%(232.40 ポイント安の 3,707.99)、東証グロース市場 250 指数が約▲5.6%(42.34 ポイント安の 709.12)となりました。日経平均構成銘柄の大半が下落し、ソフトバンクグループなどの AI データセンター関連株の下げが大きくなりました。TOPIX は、東証 33 業種のすべてが下落し、食料品(約▲10.0%)、石油・石炭製品(約▲8.4%)、不動産業(約▲7.3%)、非鉄金属(約▲7.2%)、証券業(約▲7.1%)などの下落が大きくなりました。

中間選挙後のデータセンター規制への警戒に加え、これまで大きく上昇していた AI・半導体関連株の利益確定売りも重なり、リスク回避の売りが続いており、今後の米国市場動向等が注目されます。国内株式市場の大幅下落に伴い、弊社の運用する日本株関連ファンドの組入れ銘柄の株価も影響を受けたことから、基準価額は下落しました。

以上

〇本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。〇本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。〇投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。〇投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。〇お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

（お買付時に直接ご負担いただく費用）

●お買付手数料　　上限 3.85%（税抜 3.5%）

（途中解約時に直接ご負担いただく費用）

●信託財産留保額　　上限　0.5%

（保有期間中にファンドが負担する費用（間接的にご負担いただく費用））

●信託報酬　　上限 2.585%（税抜 2.35%）

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。
また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

≪ご注意≫

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

●投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
●投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
●投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
●銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

〇本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。〇本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。〇投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。〇投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。〇お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。